

○ 明るい民主大阪府政をつくる会 明るい会ニュース

2016. 11. 10 No.131 (部内資料)

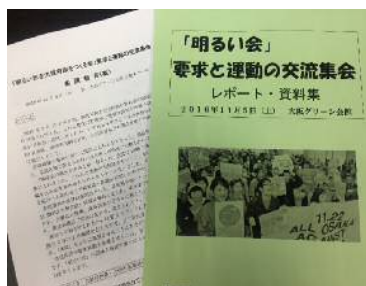
明るい民主大阪府政をつくる会
〒530-0047 大阪市北区天神橋 1-13-15
大阪グリーン会館
TEL 06-6357-5333 FAX 06-6357-5303
E-mail akarui@mba.sphere.ne.jp

維新政治打破の共同を広げる活動を交流 「『明るい会』要求と運動の交流集会」に80人

明るい民主大阪府政をつくる会は11月5日、「要求と運動の交流集会」を開き、80人が参加しました。

昨年11月の大阪府知事・大阪市長ダブル選挙からの1年を振り返り、大阪の現状と維新政治を打ち破るたたかいの展望を語り合おうと開いたもの。

集会では、維新政治打破をめざす運動と



今後の課題などについての各団体のレポート集も配布しました。



記念講演

維新政治に対抗する共同のための課題を問題提起

中山徹奈良女子大教授



中山徹さん(奈良女子大学教授)が「自治体をめぐる状況と今後の展望」と題して記念講演

しました。

中山さんは、安倍政権が人口減少時代に国際競争に勝ち抜くとして進めている国土と地方の再編計画を詳述するとともに、国政では野党共闘が進んでいるが大阪では現状を変えたいとい

う不満を維新がかすめとっていると指摘。アベノミクスの大阪版ともいえる維新政治に対し「反維新」の共同を広げるための課題をさまざまな角度から問題提起しました。

感想文から

- 本来、味方として共同すべき人たちに「対立」をつくり、分断させるやり口に対して、ていねいな批判、対話が不可欠ですね。
- 情勢のこと、自治体のこと、今後すべきことが本当によくわかりました。
- 自治体本来の役割が再認識できました。

荒田事務局長が基調報告

維新を「支持」する人の意識、暮らしびりをふまえて、 幻想を打ち破る日常活動の強化を

川辺和宏代表常任幹事（大阪労連議長）の主催者あいさつに続いて基調報告を行った荒田功事務局長は、参院選での野党統一候補の勝利が新しい共同の条件を広げていること、「憲法を暮らしに生かす。府民が主人公の大阪府政の実現をめざすこと」「そのための広範な府民各界・各層・個人との共同をすすめること」という目的をもつ「明るい会」が、安倍政治、維新政治に危機感をもち、運動に立ち上がっているさまざまな人々との共同を強化することを強調しました。

9月に実施した「維新についてのネット1000人調査」から維新の高支持率の背景に「改革者」としての期待があるが、実際の生活はよくなっていないと感じている人が多く、維新への幻想を打ち破るために日常的な

要求実現活動を積極的に進め、対話と共同を発展させていく重要性を強調しました。

日本共産党の柳利明府委員会副委員長が維新政治を打ち破る課題について特別発言しました。

感想文から

- 「要求と運動」の強化は同感です。
- 憲法と平和を守るたたかいが第2ラウンドに入っているとホント思う。「明るい会」の歴史を振り返れてよかった。
- 報告がツボをおさえて、ゆっくりと話されてよくわかった。個人の尊厳を大切に
する原点を大切にしていこうではないか。

日ごろのとらえ、確信、悩み、抱負を存分に交流 分散会で参加者全員が発言

参加者は5つの分散会に分かれて交流。松井府政のもとでの府立高校の統廃合、チャレンジテスト、福祉4医療の改悪などが話題に、維新政治を打ち破る世論と共同をどうつくるのか、それぞれの体験を交えて交流されました。各自治体に対する要求と運動も交流されました。

討論では、「住民運動との共同をどうつくるのか」が課題。住民の中に入り、住民要求を阻害するもの、解決の展望をともに考える活動を」「教職員組合のレポートが維新政治との対決点がシャープ。要求、願いを出発点に日常的な運動につなげるかが大切」「現状への不満が維新支持の背景にある。どう暮らしを温めるか。すぐに一致できない部分があっても、暮らしをよくする視点でみれば思いを共有し、共同を広げる可能性がある」「大阪市会は傍聴してきたが、府議会への意識が弱かった。地域での学習会でも府政をテーマにしていきたい」「大阪市住民投票や新潟県知事選のような本気の共闘を盛り上げたい」「子どもたちが維新政治の被害者に。府民に伝わるように草の根でのおしゃべりを大切にしたい」など、活発に意見がだされました。



感想文から

- 年1回といわず、数回開いてほしい。
- 他団体の状況、悩みがよく理解できてよかった。
- 日ごろ、労働組合運動にしか目がいかなくなっているが、地域や分野での粘り強い運動を実感できました。
- それぞれの分野でホント努力していることがよくわかった。中身の濃い集会でした。